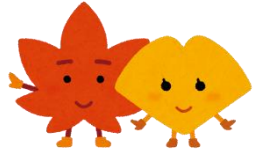
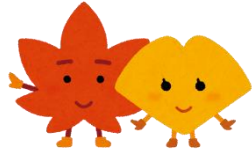


いしかり「防火」通信



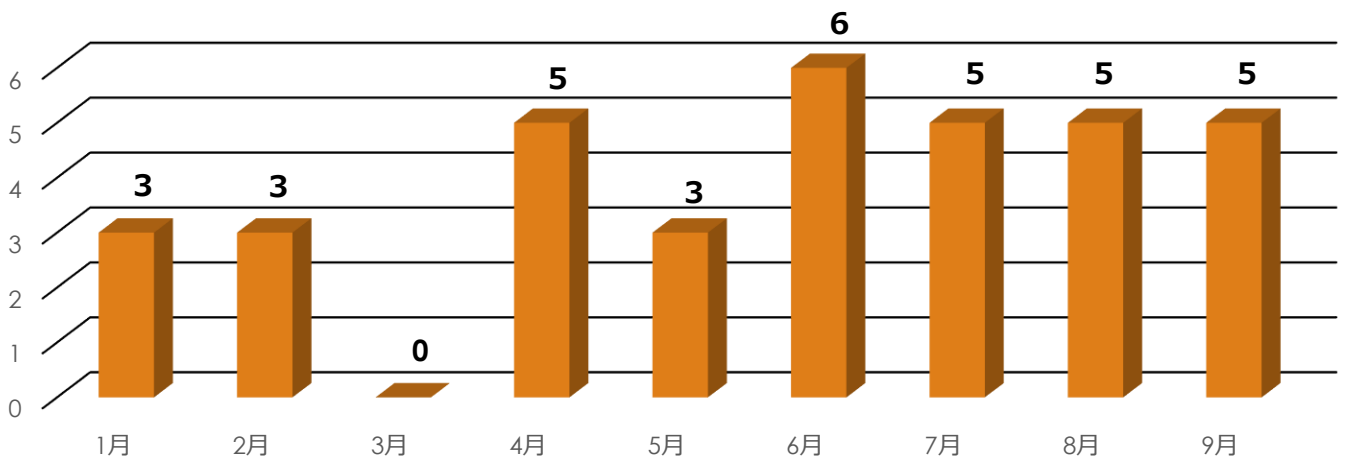
秋の全道火災予防運動



令和6年10月15日(火)～令和6年10月31日(木)までの間、**秋の全道火災予防運動**を実施します。この季節は、だんだんと気温も低くなり、ストーブなどの暖房器具を使用する機会が増えてくるとともに、空気が乾燥し火災が起こりやすい季節となります。改めて一人ひとりが防火意識を高め、火災を未然に防ぎましょう。



石狩市火災発生件数【1月～9月】



乾燥すると火災が起きやすい？



水分を含んでいる枯草や木材などは、火が付くまでに時間がかかりますが、空気が乾燥することで、枯草や木材の水分が少ない状態になり、**火が付くのが早く、燃え広がりやすくなります。**

そのため、空気が乾燥するこの時期の屋外での火の使用は細心の注意が必要です。火を使用する際は、**付近に燃えやすい物はないか、風が強く火種が飛ぶことはないか**といったことを十分に注意しましょう。

暖房器具使用時の注意事項

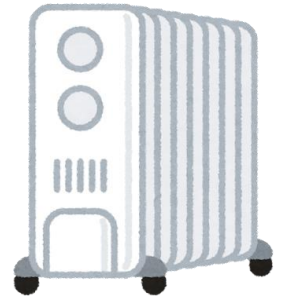
冬を快適に過ごすために

もうすぐ冬の季節です！寒さを乗り切るために暖房器具を使う際には、以下の安全ポイントを守って快適にお過ごしください。

5つの注意事項

①定期的な換気を心がけましょう

暖房器具を長時間使用すると、部屋の空気がこもり、酸素が不足することがあります。1時間に1回程度、必ず換気を行いましょう。



②近くに燃えやすいものを置かない

暖房器具の周囲には、衣類や紙類、布団などの燃えやすい物を置かないようにしてください。火災の原因となる可能性があるため、最低でも1メートル以上の距離を保ちましょう。

③使用前には機器の点検、使用中は定期的に確認し、こまめな清掃を

久しぶりに使用する暖房器具は、必ず使用前に点検しましょう。ホコリがたまっている部分がある場合は、しっかりと清掃し、異常がないか確認してください。フィルターや送風口にホコリがたまると、効率が悪くなるだけでなく、異常発熱の原因にもなります。こまめに清掃し、清潔に保ちましょう。



④寝る前には必ず電源をオフに

暖房器具は就寝中や外出中は必ず電源をオフにしてください。自動タイマー機能を活用するのも良い方法です。



⑤正しい場所での使用を心がける

屋内専用の暖房器具は、必ず屋内で使用しましょう。屋外で使用すると、風や雨にさらされ故障や事故につながる可能性があります。

